

大阪市障がい者施策推進協議会障がい者計画策定・推進部会
第4回ワーキング会議 議事要旨

日時：令和5年7月6日（木）午前10時～正午

会場：大阪市役所 屋上階 P1 共通会議室

【報告事項 次期計画「第2部 第3章・第4章」の修正点について】

《 資料1・2について 説明 》

- ・ 精神科病院に長期入院していた人が退院した時に、本人が相談をする場所を記載してほしい。家族が心配事を抱えて家族教室で相談するという状況になると大変である。
- ・ 障がいある人の生活について、家族が責任を持つという風潮が、精神科への長期入院を生むという社会の構造がある。家族が地域移行を妨げる要因であるといったような受けとめられ方をされないように、計画の表現を工夫してほしい。
- ・ 計画の文章は、読み手にとって分かりにくい面があるため、計画とは別に、大阪市の事業概要を一覧にしたウェブサイトを作成していただけると分かりやすくなる。

【議題1 次期計画「第2部第5章 住みよい環境づくりのために」について】

《 議題1 資料3について 説明 》

- ・ 個別避難計画について、地域には取組状況が全く伝わっていない。現在の状況や今後の取組をもう少し具体的に書いてほしい。また、現在進められている取組について情報発信してほしい。
- ・ 災害時について、個別避難計画を前提とした対応になっているため、早急に個別支援計画を作成しなければ、障がいのある人への支援が機能しないのではないかと。
- ・ 個別避難計画作成の取組について、区によってばらつきがある状況を均していただきたい。
- ・ 緊急時の対応については、より身近な地域において具体的に検討しておく必要がある。地域に密着した地域自立支援協議会などでの取組も検討すべきではないかと。
- ・ 障がいのある人の避難先について、総合避難所だけではなく、福祉避難所にも直接避難できるような仕組みにしてほしい。
- ・ 防災に関して、障がい福祉サービス事業所の業務継続計画について、課題認識や、どのような支援や指導をしていくかについても触れてほしい。
- ・ 交通に関して、2025年の万博に向けて大阪府と一緒に進めているバリアフリー化の取組についても記載してほしい。
- ・ 可動式ホーム柵の設置は進んでいるが、転落事故はなくなっていない。民間鉄道駅の一部には駅員のいないところもあり、行政としても方策を検討してほしい。
- ・ 国において、住宅施策と福祉施策の連携により、入居後の福祉施策も含めて対応する仕組みが検討されている。国の動向を注視し、大阪市においても取組を行ってほしい。

- ・ グループホームについて、福祉施策として生活支援をしているという意識がなく、利益を重視して事業展開しているようなところもあるため、整備促進において、サービスの質に関しても記載してほしい。

【議題2 次期計画「第2部 第6章 地域で安心して暮らすために」について】

《 議題2 資料4について 説明 》

- ・ 知的障がい理解のある精神科の医師は少なく、年金申請時の診断書作成の際に困っている人も多い。また、発達障がいについても、大人になってから初めて受診する場合は医療機関に困る。
- ・ 初めて受診する医療機関に年金申請の診断書の記載を依頼した場合、医師は、親の意見に基づいて診断書を作成している。親の力によって、診断書への本人の状態の反映状況に差が生じるのは問題である。発達障がいを専門にする医療機関等があれば、一覧にして配付する等の手だても検討してほしい。
- ・ 地域で生活している精神障がいのある人が、身体的な病気に罹患した時に、一般病院ではなかなか入院を受け入れてもらえない。そういった問題についても記載してほしい。
- ・ 地域における精神保健福祉相談の充実に向けて、区保健福祉センターと地域活動支援センター（生活支援型）などとの連携を強化するとあるが、精神障がいの基本的な相談や困難事例への対応は、障がい者基幹相談支援センターでも行っているため、ここに明記してもよいのではないか。